

各指標の説明について

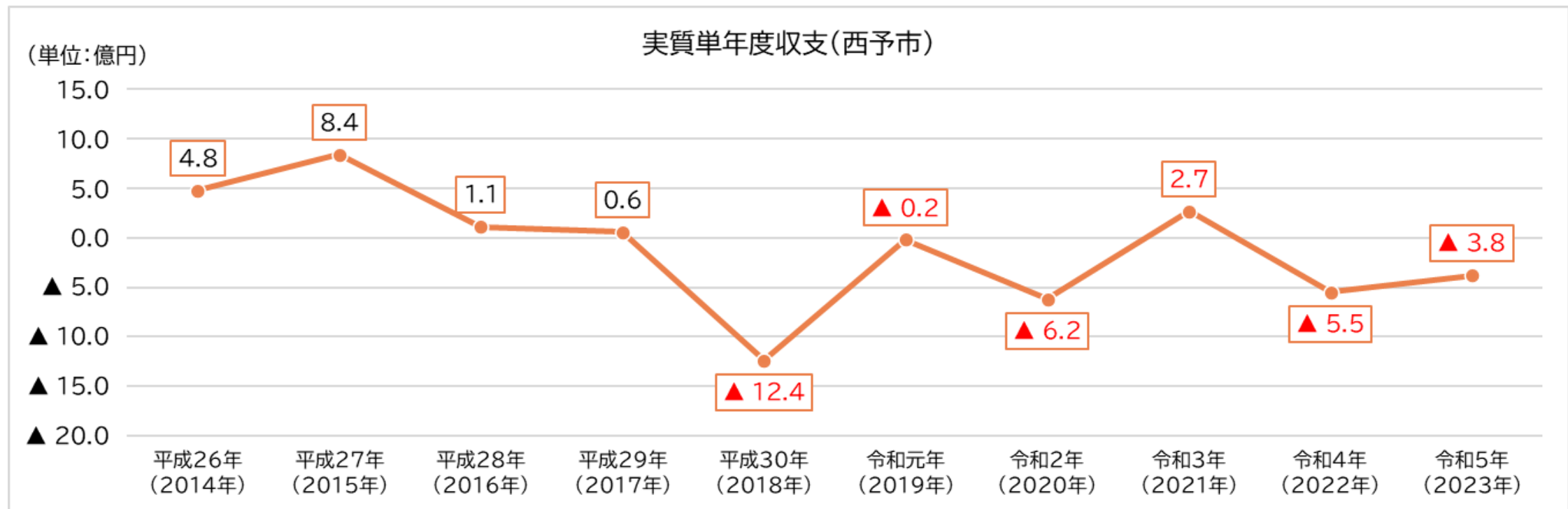
資料① 実質単年度収支(これまでの推移)

財政状況を表す指標の一つで、単年度の収支に、基金の積み立てや取り崩しなど、**財政調整の影響を加味した真の財政収支**を示すもの。

実質単年度収支 = 単年度収支① + 積立金 - 基金取崩し額

①単年度収支 = (当該年度)実質収支額 - (前年度)実質収支額

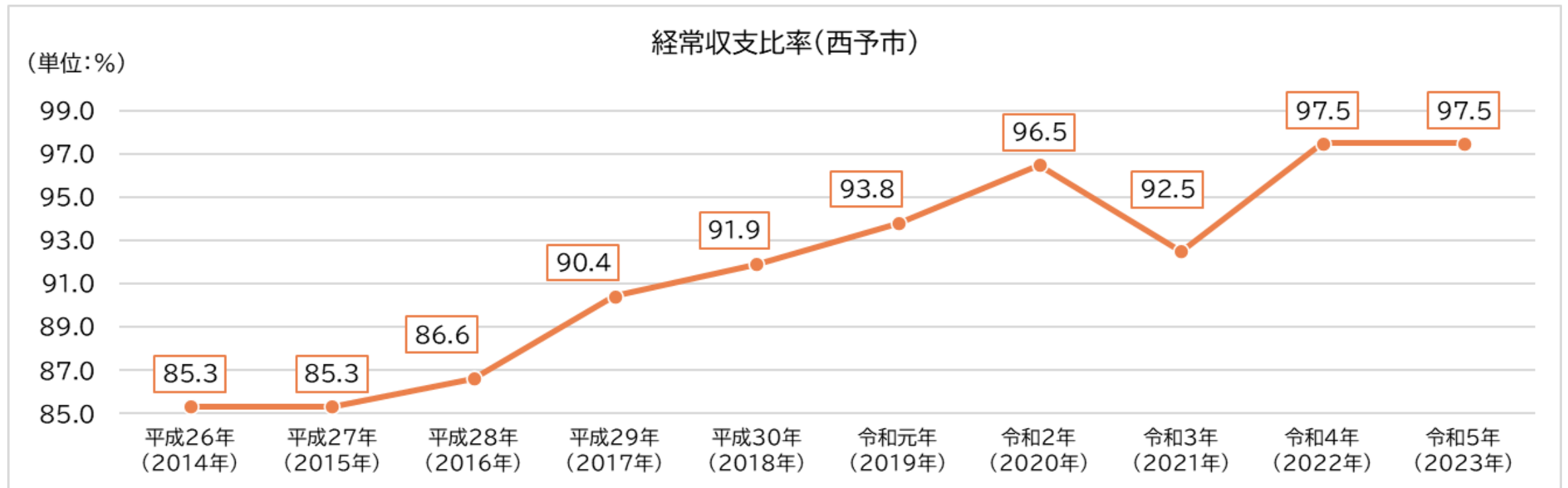
※実質収支額 = 歳入決算額 - 歳出決算額 - 翌年度繰越財源



資料② 経常収支比率(これまでの推移)

団体の財政構造の弾力性を表す指標です。この値が低いほど弾力性(余裕)があり、**この値が高いほど財政構造が硬直**していることを示す。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費(人件費、扶助費、公債費 等)}}{\text{経常的収入(地方税、普通交付税等) + 臨時財政対策債}}$$



資料③ 実質公債費比率(これまでの推移)

一般会計等の負担する借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを表す指標。**資金繰り危険度**を示すもの。(3ヵ年平均)

実質公債費比率 =
$$\frac{\text{借金返済額} - \text{特定財源} - \text{普通交付税措置額(返済分)}}{\text{標準財政規模} - \text{普通交付税措置額(返済分)}}$$

